

科目名	総合演習 I F					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	4268

●授業のテーマ

●講義のテーマ カウンセリングとボランティアに関する実践研究

●到達目標

カウンセリングとは何か、ボランティアは何かを実践的に学び、理解を深めることができる。また、傾聴の技能と技術を身につけることができる。

●学習内容(授業概要)

対人援助的なボランティアの場面では、対象者を少しでも理解しようと、対象者の話に耳を傾ける(傾聴)、対象者を可能な限り受け容れる(受容)、対象者の気持ちを理解する(共感的理解)などカウンセリング的な場面が同時に生じることもある。しかし、人は簡単には理解できなものであるから、そこには戸惑い、悩みといった葛藤が生じる。この葛藤をどのように処理し、昇華していくかが重要である。一方、「落書き消し隊ボランティア」や「清掃ボランティア」などのように対人援助的なボランティアでない場合は、一人で黙々とするその行為の中に新たな自分自身を見い出したり、社会の有り様が見えて来たりすることもある。カウンセリングとボランティアについて実践的に学ぶことは、将来において保育者として現場に出た際の実践力を高め、職場の人間関係、子どもや保護者との人間関係に打たれ強い精神力を育てることになるであろう。<キーワード>傾聴、実践力、精神力、対人援助

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション
2. なぜこのゼミを選んだのか 一動機は何か?その『ころ』はー
3. カウンセリング実践論
4. ボランティア実践論
5. カウンセリング実践論とボランティア実践論の共通性と相違性
6. 実践の事前学習・準備①学外講師の講義
7. 実践の事前学習・準備②計画(地域の保育園、土木事務所との協働)
8. 実践の事前学習・準備③道具等の買出し
9. 実践①(環境美化活動 公園の下見)
10. 実践②(環境美化活動 公園の備品清掃)
11. 実践③(環境美化活動 園児への説明)
12. 実践④(環境美化活動 落ち葉拾い)
13. 実践の事後学習①(フォローアップ)
14. 実践の事後学習②(次回に向けて)
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

毎回の演習のテーマごとに、カウンセリングやボランティアの専門書等で調べて演習に臨むこと。また、演習後は、演習の要点をまとめておくこと。

●成績評価方法・基準

実践の発表（50%）、実践報告書（レポート）（50%）により総合的に評価する。

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『こころのうた』、著者名：目黒達哉監修、出版社：（株）みらい、販売先：教員研究室、備考：2005年

●参考文献／その他

＜参考文献＞適宜紹介する。

＜その他＞

実践を重んじるので、学生の皆さんの積極的な参加を望む。毎時間、ゼミ生ひとりが『こころのうた』より気に入った詩を選び、皆の前で朗読し、その詩にまつわるエピソードなどを発表してもらう。

●履修上の注意

●準備学習の内容

ボランティアやカウンセリングに関する資料、新聞記事などを集めてみる。